

施策：	16	開かれた市政の推進	財務コード	01020103-01-026
基本事業：	01	広報の推進	担当部	企画政策部
基本事業の成果指標	広報紙を読んでいる市民の割合 メディアへの情報提供件数（計画期間内累計）		担当課	秘書広報課
			担当係	広報広聴担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	実施計画			
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫野市内外の住民及び市内に通勤・通学している人 筑紫野市内の企業等			・ 広報業務として、市ホームページの掲載内容の確認、SNS（Facebook、X（旧Twitter）、LINE、Instagram、YouTube）の運用、市民便利帳の発行の他、マスコミ等にイベント等の情報を提供しています。 ・ 広聴業務は、まちづくり座談会、まちづくりへの提案等を実施し、市民の声を取り入れながら、市民参画の市政づくりに努めています。						
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
行政情報の積極的な提供を行うとともに、市民等からの意見・提案を受け入れ、情報の共有化を進め、市民協働のまちづくりを推進します。									
4．成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
マスコミ等への情報提供件数		件	88	108	100	100			404
市公式ホームページ（魅力発信に関するページ）アクセス件数		件	2,853	8,804	20,000	20,000			80,000
5．コスト									
事業費	計	千円	949	1,889	766	948			
	国	千円	0		0	0			
	県	千円	0		0	0			
	地方債	千円	0		0	0			
	その他	千円	0		52	5			
	一般	千円	949	1,889	714	943			
正職員人工数		人工	1.4	1.4	1.5				
正職員人件費		千円	10,819	10,941	12,035				
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)		千円	11,768	12,830	12,801	948			
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
● あがっている ○ どちらかといえばあがっている ○ あがっていない（停滞・低下）		・ マスコミ等への情報提供件数は、市制50周年事業の周知もあり、例年よりも増加。 ・ ホームページのアクセス件数は、指標の対象としているページを再度新着情報に掲載した。また、令和6年3月に魅力発信ポータルサイトを作成したことにより増加。 ・ 広聴事業としては、R5年度中にまちづくりへの提案を126件受付、まちづくり座談会を8回実施している。							
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	・ R4年度から「市政への提案」事業を本事業に編入し、広報・広聴を一体とするように取り組みを進めています。 ・ 市制施行50周年記念事業としてInstagramを開始。他の情報媒体とは別に魅力発信という面で情報発信を行っています。 ・ 移動市長室、市政への提案を令和5年度からまちづくり座談会、まちづくりへの提案に変更。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■ 改善方向性		● 維持 ○ 見直し ○ 廃止 ○ 事業終了			
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
■ 事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■ 備考・特記事項 or 進行管理欄					
・ Facebook、X、LINEは順調に推移。 ・ 令和4年2月から新たにInstagramの運用を開始 ・ 令和5年度に移動市長室、市政への提案を見直し、まちづくり座談会、まちづくりへの提案を開始。				・ H26年度から市公式Facebook・X（旧Twitter）開始 ・ H27年度から市公式YouTube開始 ・ R2年度から市公式LINE開始 ・ R3年度から市ホームページをリニューアル、市公式Instagram開始 ・ 令和6年3月から魅力発信ポータルサイトを立ち上げ					

事務事業名 広報「ちくしの」発行事業

出力日：令和07年03月18日
キーコード：27

施策：	16	開かれた市政の推進	財務コード	01020103-02-027
基本事業：	01	広報の推進	担当部	企画政策部
基本事業の成果指標	広報紙を読んでいる市民の割合 メディアへの情報提供件数（計画期間内累計）		担当課	秘書広報課
			担当係	広報広聴担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和47年度～		新規・継続		継続	会計区分		実施計画		
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
筑紫野市民及び市内に通勤・通学している人（市民等） 筑紫野市内の公共施設等			「広報ちくしの」は、筑紫野市広報紙発行規則（昭和47年3月16日規則第9号）に基づき月1回発行し、区長を通じて各世帯に配付しています。 発行部数は令和5年度は、毎号約44,600部となっています。（各世帯、市内各施設、市役所各課など） 毎月、各課や市民から提出された原稿を秘書広報課で編集し、複数回の校正を経て発行しています。また、行政情報の圧縮、特集の掲載、表紙の写真掲載など紙面の改善を行っています。 市民アンケートの結果などから、月2回だった発行回数を、令和3年度から月1回に変更、併せて全面カラー化へとリニューアルを行いました。							
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
行政情報や市の魅力等が正確に市民等に伝わり、理解され、行動に結びついています。										
4．成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標	
広報紙を読んでいる市民の割合		%	79.3	80.4	85	85			85	
市からの情報提供の質や量が十分だと思う市民の割合		%	88.3	88.4		88.8			91.4	
5．コスト										
事業費		計	千円	14,199	16,206	18,807	22,601			
		国	千円	0		0	0			
		県	千円	0		0	0			
		地方債	千円	0		0	0			
		その他	千円	1,211	1,413	660	1,054			
		一般	千円	12,988	14,793	18,147	21,547			
正職員人工数		人工	1.4	1.4	1.5					
正職員人件費		千円	10,819	10,941	12,035					
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)		千円	25,018	27,147	30,842	22,601				
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
○あがっている ●どちらかといえばあがっている ○あがっていない（停滞・低下）		・まちづくりアンケートによると、広報紙を読んでいる割合、情報提供の量と質の満足度ともに、微増しています。 ・計画的な記事掲載など、紙面を継続的に改善しています。令和3年度からは月1回発行となり全面カラーなどリニューアルを行いました。今後は、インターネット上での配信も進めつつ、引き続き、読みたくなる広報紙であるよう工夫を重ねていきます。								
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	市民に対しては広報紙が情報発信の中心であることは変わりないため、インターネット上での配信も進めつつ、引き続き、読みたくなる広報紙であるよう工夫を重ねていきます。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし							
成果向上余地	中程度									
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					■備考・特記事項 or 進行管理欄					
令和3年度から毎月1回の発行に変更。市民が親しみやすい情報を掲載し、全面カラー化するなど、手に取り読みたくなる広報紙へと改善を図っている。 また、市ホームページ、SNSなどを通じて、紙媒体だけでなくインターネット上においても、「広報ちくしの」を提供している。					・広報紙については、市ホームページにも毎号掲載 ・Facebook、X（旧Twitter）、スマートフォンアプリ「マチイロ」にて、市ホームページへのリンクを設定することで、広報紙を配信 ・R2.3からLINEにおいても同様に広報紙の配信を開始					

事務事業名「つくしちゃん」積極活用事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：1724

施 策：	16	開かれた市政の推進	財務コード	01020101-39-018
基本事業：	02	市の魅力の情報発信	担当部	企画政策部
基本事業の 成果指標	市公式ホームページ（魅力発信に関するページ）アクセス件数 SNSフォロワー数		担当課	秘書広報課
	市の魅力をPRするために作成・発信したコンテンツ数（計画期間内累計） この1年間で友人・知人に筑紫野市の良さを伝えたことがある市民の割合		担当係	広報広聴担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成27年度		新規・継続		継続	会計区分			実施計画	
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市内外住民			・ イベント等でのつくしちゃんの着ぐるみの積極的な活用。 ・ 刊行物等へのつくしちゃんのイラストの積極的な活用。 ・ ラインスタンプ、グッズ（ピンバッジ、CD等）の販売・配布							
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
市のイメージアップと知名度向上の一助となることを目的に、「つくしちゃん」の露出回数を増加させることで愛着や印象を持ってもらい、「つくしちゃん」の認知度を向上させる。										
4．成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標	
着ぐるみの貸し出し回数		回	26	33	50	50				
「つくしちゃん」の認知度（市民アンケート）		%	89.9	89.7	90	90				
5．コスト										
事業費		計	千円	31	31	3,679	7,420			
		国	千円	0		0	0			
		県	千円	0		0	0			
		地方債	千円	0		0	0			
		その他	千円	0		0	0			
		一般	千円	31	31	3,679	7,420			
正職員人工数		人工	0.3	0.3	1.5					
正職員人件費		千円	2,318	2,345	12,035					
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)		千円	2,349	2,376	15,714	7,420				
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
○あがっている ●どちらかといえばあがっている ○あがっていない（停滞・低下）		新型コロナウイルス感染症拡大によりイベントがなくなり貸出件数が激減していたが、感染症の流行が落ち着き、イベントの開催が増えてきたことから、着ぐるみ貸し出し回数も回復している。 「つくしちゃん」の認知度について、まちづくりアンケートで平成30年度から質問項目を設けており、令和5年度は「イラストも愛称も知っている」55.5%、「イラストだけ知っている」28.5%、「愛称だけ知っている」5.7%となっている。								
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	【状況】着ぐるみ貸し出しについて、例年同一イベントでの貸し出しが多い。コロナ禍で貸出件数が減少していたが、イベントの実施増加に伴い、増加している。 【課題】イベント等の実施がさらに増加することが予想されるので、貸し出し制度の周知を積極的に行う。 イラストや着ぐるみ等について、積極的な活用を促していく。						
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地あり							
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	あり							
成果向上余地	大きい									
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		○維持 ●見直し ○廃止 ○事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
今年度につくしちゃんのリニューアルを行い、それに伴う周知、活用ツールの拡大により、認知度向上を図る。 また、つくしちゃんを活用したシティプロモーションを行うことで、市民の郷土愛を深め、筑紫野市の認知度を高める。										
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄						
近年、自治体のマスコットキャラクターは「ゆるキャラ」としてイベントのPRや自治体の顔として重要な役割を担うようになってきている。										